

〔事例3〕教材提示を全体と個別に同時に行う

高等部3年、知的障害のある生徒が在籍する学級。「校外学習の説明や振り返りにタブレット端末で撮影した静止画や動画を大型テレビにつないで提示したい」という相談を受け、ケーブルを使ってミラーリング（タブレット端末の画面をテレビなどに映す）する方法をサポートした。しばらくして姿勢や見え方の問題から大型テレビに注目しづらい生徒もいるので同時に個別にも提示することができないか、という相談を受けた。そこでさらに生徒の机上のタブレット端末と大型テレビの設置環境を改善した。その生徒にとって

は画面をすぐそばで見ることができるので注目度も上がり、授業に参加しやすくなった。

初歩的な操作サポートであったが相談した教員にとってはタブレット端末がその後の授業作りの非常に便利なツールとなり、生徒たちとっても学習しやすい環境作りにつながった。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「B-292 特別支援学校（肢体不自由）のAT・ICT活用の促進に関する研究—小・中学校等への支援を目指して—」（平成26年3月）、46-47に記載された内容である。

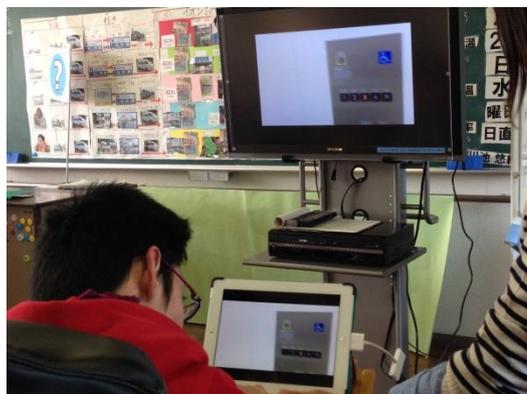


図7 机上のタブレット端末とテレビをミラーリングする様子